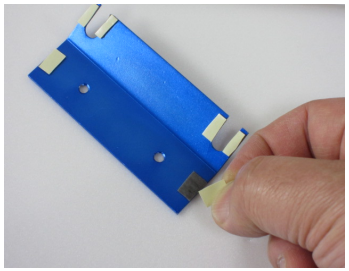
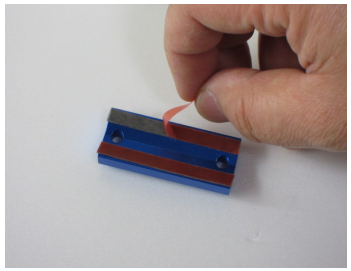
国際光器オリジナル商品・「SSD1」と「SSD2」取扱説明書

SSD1とSSD2



SSD2



SSD1

＜SSD1単体でのご使用の場合＞

「SSD1」には、本来ドライバーの必要なスカイサーファーⅢ本体にある締め付けネジの代わりに工具なしで固定できるよう、専用のノブネジ2本が付属されています。

「SSD1」のみでご使用になる場合は、底面に貼られた両面テープをそのまま利用し、各種鏡筒へ「SSD1」を張りつけてスカイサーファーⅢの台座として運用して下さい。

SSD1を利用し、ファインダー台座のない鏡筒へスカイサーファーⅢを取り付けた例。

＜SSD1とSSD2を併用してのご使用の場合＞

「SSD2」は「SSD1」を「SSD2」に取り付けた状態でEF508専用脚（現行型）に取付てスカイサーファーⅢの台座とします。「SSD1」同様に底面に貼られた両面テープでEF508専用脚との接触面へ貼付けて、そのあと、いつものようにEF508専用脚内のファインダー本体を調整用のノブネジで軸調整を行い、ノブネジに付いているロックナットを利用し、このロックナットで「SSD2」を挟み込むように固定します。これで両面テープの接着力とネジによる圧着で、「SSD2」はしっかりと固定されます。あとはスカイサーファーⅢを「SSD2」上の「SSD1」へ接続すれば完了です。

SSD1とSSD2利用しEF508専用脚（現行型）にスカイサーファーⅢを取り付けた様子。

本品に使用されている両面テープは、自動車のエアロパーツの装着などに使用されている物と同等の物が使用されており、両面テープとしては極めて強力な接着力で軽量なスカイサーファー3とパーツAを接着するには必要充分な品質ですが、特定の環境下での使用を定めているわけでも推奨しているわけではありませんから、SSDを利用する際には、極端に気温の高い場所、その逆で極端に気温の低い場所、長時間に及ぶ直射日光下、空気中極端に高い湿度や降雨にさらされるような状態、望遠鏡として運用している時間・時間外における不意の接触や衝撃、故意による加過重等は本製品を正常に使用する上で問題となる場合があるかもしれませんが、このような場合における本品等の破損やパーツの脱落、位置ズレ等の外部的要因による不具合は国際光器として責任を取りかねますので、その旨ご了承下さいますようお願い申し上げます。